▼ミニハードルをリズムよく飛び越える児童たち

世界メダリストから学ぶ　体を動かす楽しさ

７月２日、秦荘東小学校４年生を対象に、世界室内陸上４×400メートルリレーでメダルを獲得した稲垣 誠司さんによる体育授業が行われました。

授業では、笛の合図に合わせて動くトレーニングや、ミニハードルを跳び越えてダッシュするなど、さまざまな動きを組み合わせた運動に挑戦しました。

児童たちは、「足が速くなった気がする」「いっぱい動いて疲れたけど楽しかった」と笑顔で話していました。

稲垣さんは、「好きなことを続けていると、大人になった時にきっといいことがありますよ」と児童たちへエールを送りました。

体を動かす楽しさと、挑戦し続けることの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

▼救助用ハーネスを装着する児童と青木さん

見て・触れて・学ぶ　防災教室

７月３日、愛知川小学校４年生を対象に、防災教室が行われました。防災教室では、町職員から、地震や水害の特徴、災害から命を守るための基本について説明がありました。その後、児童たちは、町で備蓄しているダンボールベッドや防災用担架などに触れ、防災への備えについて理解を深めました。

また防災航空隊の青木 涼平さんによる救助体験では、２種類の救助用ハーネスを装着する実演が行われ、児童たちは救助活動の一端を興味深く見学しました。

児童たちは、「大地震が起きる前と後の写真を見て、同じ場所には思えなかった」「レスキューロープがとても丈夫で安心した」と話し、防災意識を高める貴重な学びの機会となりました。

▼災害時に活躍するポータブル電源（写真中央）

地域防災を支える備品の寄贈

7月3日、滋賀県電気工事工業組合から、防災備品としてポータブル電源1台を寄贈いただきました。

同組合と町は、平成20年9月に「災害時における電気設備応急復旧に関する防災協定」を締結しており、防災備品の寄贈は今回で12年連続となります。

寄贈いただいたポータブル電源は、災害時の避難所などでの電力確保に役立つ重要な備品で、11月22日に実施予定の町の総合防災訓練においても活用する予定です。

町では、災害発生時に資機材を迅速かつ適切に運用できるよう、日頃から訓練を重ね、防災体制の充実に努めています。

長年にわたり地域の安全・安心を支えるご支援をいただき心より感謝申し上げます。

▼オンラインで学習を発表する生徒たち

沖縄とオンラインでつながる平和交流

7月8日、愛知中学校2年生が、沖縄県糸満市立三和中学校との平和交流事業をオンラインで実施しました。

この交流は、戦争の歴史や平和学習の成果を伝え合い、平和な社会について考えるとともに、同年代の仲間との交流を深めることを目的に行われたものです。

当日は、滋賀県と沖縄県それぞれの地域に残る戦争の歴史や平和学習で学んだ内容を発表し合い、「慰霊塔に関する歴史が多いのはなぜですか」など、互いに質問を交わしながら理解を深めました。

また、休み時間には、学校生活や地域の違いについて話すなど、交流を広げていました。

生徒たちは平和の尊さを改めて実感し、来年の沖縄への修学旅行に向けて、さらに学びを深める機会となりました。

▼優勝されたゲートボールチーム「愛荘」の皆さん

ゲートボールチーム「愛荘」　県大会２連覇

7月10日、はつらつドームで、第79回滋賀県民スポーツ大会ゲートボールの部が開催され、県内から13チームが出場しました。

町内のゲートボールチーム「愛荘」は、予選リーグを3戦全勝で突破し、決勝トーナメントへ進出しました。決勝戦では高島市チームと同点となる大接戦となりましたが、競技内容による判定の結果、見事優勝を果たしました。これにより、チーム愛荘は2年連続の優勝という快挙を達成しました。

選手の皆さんは、日頃の練習で培ったチームワークを発揮し、最後まで粘り強くプレーしました。

ゲートボールチーム「愛荘」の出場者
大橋 良洋、青木 隆明、宿谷 廣美、須田 ちづ子、
髙田 吉次、中村 和夫、村西 勝、竹内 好雄、小川 善道

▼地域の方に教わったけん玉に挑戦する児童たち

世代を超えた交流を楽しむ　ふれ愛フェスタ

7月10日、愛知川小学校で、「ふれ愛フェスタ2026」が開催されました。この催しは、「地域の方とつながろう」をテーマに、地域の皆さんが先生となって体験ブースを開き、子どもたちと交流する恒例のイベントです。

当日は、人形劇体験や製作体験、昔遊びなど11の体験ブースが設けられ、児童たちは興味のあるブースを巡りながら楽しい時間を過ごしました。

人形劇体験では、自分で名前を付けた人形を使って役になりきって演じ、昔遊びでは地域の皆さんから遊び方やコツを教わりながら夢中になって取り組み、会場は笑顔と歓声に包まれました。

児童たちは地域の皆さんとの交流を通して多くのことを学び、思い出に残る一日となりました。

▼モルックを持ってスキットルを狙う子ども

みんなで挑戦！モルック体験会

7月11日、はつらつドームで、モルック体験会が開催され、親子や友人同士、自治会などで構成された10チームが参加しました。

モルックは、フィンランド発祥の子どもから大人まで気軽に楽しめるニュースポーツで、参加者は、スポーツ推進委員の皆さんからルールや投げ方を教わりながら、チーム対抗戦に挑戦しました。最初こそ狙ったスキットル（ピン）になかなか当たらず苦戦していましたが、試合を重ねるごとにコツをつかみ、声を掛け合いながらプレーを楽しみ、会場は笑顔と歓声に包まれました。

参加者からは「初めてでも楽しめました」「最後まで勝敗が分からず面白かったです」との声が聞かれ、モルックの魅力を存分に感じられる体験会となりました。

▼愛荘町消防団の皆さん

愛荘町消防団　県大会で5位入賞

7月12日、滋賀県消防学校で、第61回滋賀県消防操法訓練大会が開催され、愛荘町消防団が「ポンプ車操法の部」に出場しました。

大会には県内14チームが参加し、日頃の訓練で培った消防技術を競いました。愛荘町消防団は、訓練を重ねてきた成果を発揮し、本番では、選手5人が息の合った連携で消防車両を操作し、迅速かつ正確な操法を披露しました。その結果、県内14チーム中5位入賞という優秀な成績を収めました。

地域の安心・安全を守るため、日々訓練に励む消防団員の皆さんの活躍に、心から敬意を表します。

出場者
指揮者・一之瀬 勇次、1番員・瀧 堅太、2番員・成田 光輝、3番員・濱岡 詩恩、4番員・阿藤 玲樹、補助員・西島 悠紀